

東海医療科学専門学校 学校自己点検・評価表

評価対象期間・：令和5年4月1日～令和6年3月31日

実施日：令和 6年 5月 10日

1. 学校の教育目標

「最高の専門学校」になる。

- (1) 最高に仲間に敬意を払う「敬い 寄り添い 高めあう」
- (2) 最高に学生を大切に「理解し 寄り添い 諦めない」
- (3) 最高の国家試験合格率を達成する

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 教育理念に基づいた教育の実践
- (2) 教育の質向上
- (3) 国家試験合格率愛知県1位
- (4) ICT等を活用した教育の推進
- (5) 5S活動の推進

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
1-2	学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	2
1-3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4
1-4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
1-6	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか（学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	3
1-7	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4

① 課題

教育理念・目的・育成人材像は明確に定め周知している。卒業生アンケートでは昨年度より改善されたが、認知度は十分ではない。

② 今後の改善方策

昨年度、学生と教員が教育理念に基づく行動規範を策定し、その内容をクレドと定め委員会活動により推進してきた。

今年度は更に行動ベースで教員と学生がクレドを共同できる展開を図る。

③ 特記事項

特になし

2 学校運営		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1
2-1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	3
2-3	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	4
2-4	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）が開催されているか	4
2-5	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
2-6	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか	4
2-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
2-8	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を受講させているか	4
2-9	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	4
2-10	給与に関する制度を整備しているか	3

① 課題

ジョブカンによるワークフローと勤怠管理は実施から1年が経過し定着しつつある。office 365への移行については、定着にまでに時間を要するので、教職員への個別説明やサポートを実施していく旨については4月からスタートしているが定着までには時間を要することになるが慣れれば効率化に寄与する。

② 今後の改善方策

office 365の円滑な運用と定着を図るため個別対応やFAQを適宜更新していく。

③ 特記事項

特になし

3 教育活動		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1
3-1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。	4
3-2	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4
3-3	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4
3-4	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4
3-5	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	4
3-6	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	4
3-7	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	4
3-8	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	4
3-9	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	4
3-10	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
3-11	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4
3-12	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	4
3-13	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	4
3-14	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	4

① 課題

授業評価については、令和5年度の結果を受けて、各教員が1年間の担当講義の振り返り、次年度への計画等を作成して提出することとした。

② 今後の改善方策

令和6年度より、授業評価の実施方法をMicrosoftTeamsを使用して、より早期に正確に実施できるようにした。

③ 特記事項

特になし

4 学修成果・教育成果		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1
4-1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4
4-2	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	4
4-3	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	4
4-4	国家試験結果に関して検証・報告がされたか	4
4-5	国家試験結果（合格者数・合格率）を公表しているか	4
4-6	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	2

① 課題

卒業後に就活する学生との連絡が希薄になることがある。卒業後の連絡先を交換していない、卒業後の近況を報告する機会が少ない、SNSで繋がれていないなどが理由として挙げられる。また、卒業後の活躍状況を把握することが困難な場合も多く、転職などによって連絡先が変わってしまうケースがある。さらに活躍を評価する基準も明確ではない。

② 今後の改善方策

卒業後に就活する学生との連絡を維持するためには、学生向けの卒業後の連絡先共有サービスの利用や、卒業生向けのイベント開催を積極的に行っていく。

③ 特記事項

特になし

5 学生支援		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1
5-1	学生への修学支援を適切に行っているか	4
5-2	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）	4
5-3	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	4
5-4	学生の面談・相談記録があるか	4
5-5	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
5-6	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	4

5-7	退学率の低減が図られているか（出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	4
5-8	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	4
5-9	退学者数を公表しているか	4
5-10	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	4
5-11	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	4
5-12	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	3
5-13	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	3

① 課題

退学率については、例年の数字を参考に、その年度の目標数値を設定し共有している。令和5年度は前年度に比べて退学率の低下させることができた。

卒業生への支援体制については、学園の求人情報を希望する卒業生は閲覧することを可能としている。卒業後教育は実施している学科と今後実施予定の学科がある状況である。

② 今後の改善方策

令和5年度は「1年生の遠足」、「基礎力リサーチ」、「ベーシックスタディプログラム（個別の補習）」を実施した。

令和6年度には、「基礎力リサーチ」に代えて学校独自の学力検査と可能な学科では早期の臨床見学実習を計画している。

③ 特記事項

特になし

6 教育環境		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1
6-1	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	4
6-2	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	4
6-3	学内外の実習施設、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
6-4	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3
6-5	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	4
6-6	定期的に防災訓練を実施しているか	4

① 課題

6-4 危機管理マニュアルの整備

② 今後の改善方策

6-4 危機管理マニュアルの策定

③ 特記事項

特になし

7 学生の受入れ募集		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1
7-1	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	3
7-2	学校説明会等による情報提供（育成人材像、目指す資格、学費・教材費等の情報）を行っているか	4
7-3	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	3
7-4	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	4
7-5	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	4
7-6	学納金は妥当なものとなっているか	4
7-7	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4

① 課題

18歳人口の減少、大学定員厳格化の緩和による大学志向などにより志願者数が減少している。

HPは情報量が多く、必要とする情報に辿り着きにくいとの指摘を受けている。

② 今後の改善方策

オープンキャンパスや体験実習等のイベントを充実させるとともに、SNSなどを通して本校の魅力を積極的にアピールする。

HPの構成や導線を見直し、必要とする情報に辿り着きやすいように見直しを行う。

③ 特記事項

特になし

8 教育の内部質保証システム		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1
8-1	養成施設指定規則等の遵守と適正な運営がなされているか	4
8-2	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	4

8-3	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行しているか	3
8-4	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3
8-5	個人情報保護規程が文書化されているか	4
8-6	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4
8-7	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	4
8-8	自己評価、学校関係者評価結果及び教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4

① 課題

内部監査は、監査専任の部門がなく、兼務で教職員が監査を行っている。限られた時間で監査を行わなければならないため、監査業務の効率化を図っていく。

② 今後の改善方策

- ・内部監査員については、教員から監査員を選任して監査の組織体制を強化する。
- ・自己評価により明らかとなった改善すべき事項については、実現可能な事項から順次改善に取り組んでいく。

③ 特記事項

特になし

9 財務		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1
9-1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	4
9-2	年度予算・中期計画が策定されているか	3
9-3	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
9-4	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	4
9-5	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	4
9-6	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	4
9-7	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	4

① 課題

予算の執行状況については4半期ごとに分析しているが項目により予算外の支出があることがある。

② 今後の改善方策

臨時案件について財務面での中長期計画を策定した上での判断をするようにする。引き続き、計画的な学校ごとの施設設備の修繕を改修計画に基づき実施していく

③ 特記事項

特になし

10 社会貢献・地域貢献		適切：4、ほぼ適切：3 やや不適切：2、不適切：1
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
10-3	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

① 課題

学校施設の積極的活用についての案内のPR方法をどのように行っていくか。ボランティア活動についての依頼をどのようにして獲得するか。

② 今後の改善方策

ポスター、パンフレット、ホームページ、SNSを活用し、施設の利用方法や利用できる内容をわかりやすく紹介する。

イベントやワークショップなどを開催し、施設を体験できる機会を作る。

学生自治会やサークルと連携し、施設利用に関する企画や活動を推進する。

③ 特記事項

特になし